

朝日放送グループ「SDG メディア・コンパクト」に加盟

SDGs をわかりやすく広める放送や関連事業など、グループの CSR 促進を更に加速していく方針です。

朝日放送グループホールディングス株式会社（本社：大阪市福島区、代表取締役社長：沖中 進）は、8 月 28 日、グローバルな社会課題の解決を目指す「SDGs」について、国連が世界の報道機関に対し協力を呼び掛けている「SDG メディア・コンパクト」に加盟しました。

ABC テレビ・ABC ラジオ・スカイ A 各社をはじめとする朝日放送グループが加盟したことになります。

この加盟を機に、SDGs 達成のためのコンテンツ制作や放送などを通じたグループ CSR で、時代に即した社会課題解決を図る事業をさらに加速していく方針です。

【加盟の目的とアクション概要】

- ・メディアを中心としたグループ企業として、世界規模での多様な社会課題の解決に貢献したいと考え、放送番組やイベント等の各コンテンツを通じて、SDGs の存在やその内容を社会に広くわかり易く伝えてまいります。
- ・加盟により朝日放送グループ自身の CSR 活動を深めるために、SDGs の 17 目標に対して私たちが更に貢献できることを考え取り組みを進めていきます。



【SDG メディア・コンパクトとは】（国連広報センタープレスリリース 2018 年 09 月 10 日 より抜粋、一部補筆）

193 の国連全加盟国が 2015 年に採択した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の核心をなす 17 の持続可能な開発目標（SDGs またはゴールズ）と、関連する 169 のターゲットは、極度の貧困や不平等、気候変動など、現代が抱える喫緊の課題に取り組むものです。各国政府は一致団結してゴールズを定めたものの、政府だけでそれを達成することはできません。2030 年までに SDGs を達成するためには、市民社会や企業、国際機関、信仰団体、個人など、その他の主体による協調行動も必要になります。メディアは、市民対話を盛り上げるとともに、持続可能な開発を支援し、ゴールズを達成するための方法に関する知識を深めるうえで、特に欠かせない役割を果たします。

SDG メディア・コンパクトは参加者（メディア）に特定のアクションを要求することはありませんが、参加機関は SDGs と関連のトピックについての参画や活動を拡大するという原則と、支援する活動の実施を約束することになります。

朝日放送グループの CSR について

朝日放送グループでは、今年度、近年の大規模自然災害の頻発を受け、グループ CSR 方針「行動指針」のひとつ

- ◆明日の暮らしへ・『地球環境と人の営みを大切に、命と暮らしを守る情報を届けます』により注力し、自然災害や防災・減災情報につながる情報発信と取り組みを行っています。（詳細：公式 HP <https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/index.html>）
- ◆「阪神淡路大震災の取材映像アーカイブ公開プロジェクト」（公式 HP https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/）